



The Masters of  
Sekisyu-Kawara

# BSルーフ

防災瓦 石州J形53A

気品のある和の趣に、  
信頼の防災性能を凝縮。



— 安心宣言 —

- ◎陶器瓦のため一切アスベストを含みません。
- ◎釉薬の無鉛化に積極的に取り組んでいます。

100年瓦・石州  
石央瓦販売株式会社

# スマートなフォルムの裏に 隠された「多機能防災構造」が あらゆる災害から住まいを守りぬく。

抜群の瓦機能を有しその構造を極めて簡素化することにより、施工は従来どおりで出来、瓦本来の美しさを保つことが出来ます。



## [BSルーフの4大特長]

### 耐風

#### 風雨に強い

高温焼成されているため、雨の走りが良く、長時間の豪雨でも雨水の浸透を許しません。さらに、瓦の棟部分がしっかりと固定されているため、風に対する抵抗力もすぐれています。

### 耐震

#### 地震に強い

施工しやすく、屋根にしっかりと固定する構造になっているため、地震や台風にもズレ落ちることがありません。

### 耐水・耐熱

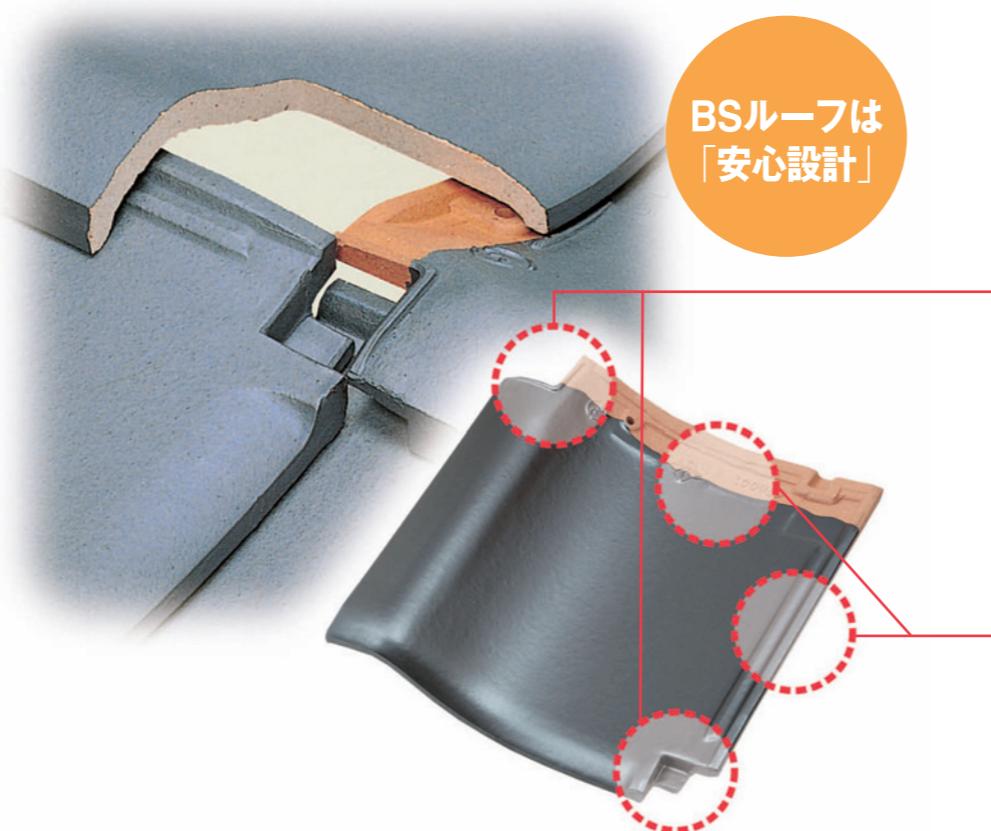
#### 断熱、耐寒、遮音性

冬は冷気を防ぎ、夏は暑さを家の中に伝えず、家屋の居住性を高めます。また、自然を呼吸する瓦屋根は省エネ対策に役立ち、遮音効果もすぐれています。

### 耐久

#### 優れた耐久性

厳しい管理システムのもとで、素材の選定から成型、施釉まで、一貫生産されていますので、常に安定した品質を保ち、優れた耐久性を発揮します。また、従来の陶器瓦のイメージも一新しました。

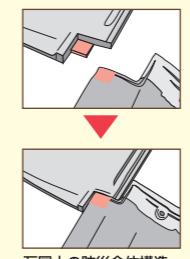


### BSルーフは 「安心設計」

#### ■ 耐風・耐震性能

ツメを設けた切鎌部によって、瓦どうしが強い押止力を発揮。これまでの瓦にない強い耐風性を実現しました。

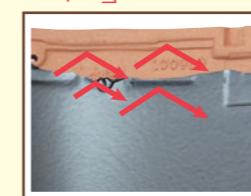
##### ツメを設けた切鎌部



#### ■ 防水性能

強い押止力により瓦の浮き上がりを抑え、水の進入を防ぐとともに、切鎌部に追加した特殊水返しと水切り溝により、漏水をガードします。

##### 「4」段の水返し



##### 「2」段の水切り



雨水の逆流をシャットアウト。

水の流れやヨコにそれを排水をスムーズに流します。

製品実験に裏付けられた機能性で、  
強風による飛散やズレ、雨もりを防止します。



#### 耐風性能試験

繰り返し引き上げ荷重試験(150サイクル法)  
瓦屋根標準設計・施工ガイド第2編第2章標準試験による。  
鉛直回転法(10回転、2回転/min)  
瓦屋根標準施工ガイドラインの方法による。

#### 耐震性能試験

〈試験条件〉  
棟木:杉材(15×21mm)  
緊結材:棟瓦用ステンレススクリュー釘  
回転止め加工(#13×65mm)

〈試験条件〉  
棟部:補強金物:ピッチ900mm  
葺き土:なんばん漆喰

棟瓦【3段積み】	性能値(全数累積)
のし瓦【5段積み】	3,090N/m <sup>2</sup>
のし瓦【7段積み】	
のし瓦【8段積み】	

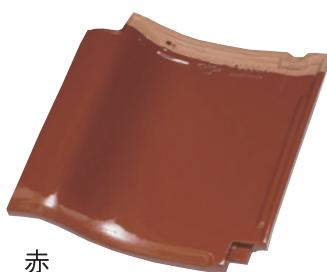
※試験実施機関:島根県産業技術センター(浜田)

## カラーバリエーション

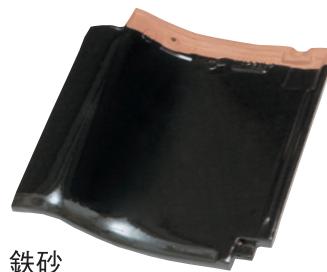
※写真は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。



銀黒

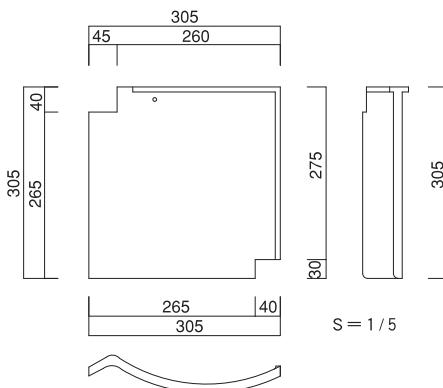


赤

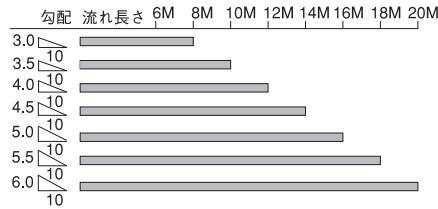


鉄砂

## 製品仕様



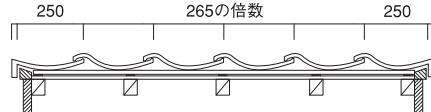
### ●標準屋根勾配



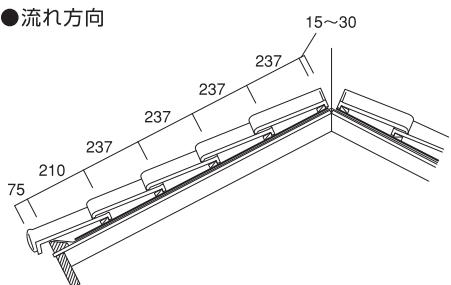
※この性能値は保証値ではありません。  
実際の施工時には、地域や建築物の種類等を考慮し、下地に注意して下さい。

## 割り付け寸法

### ●桁行方向



### ●流れ方向



※働き長さ235ミリの場合、桟木間隔は、237ミリが適当です。  
※軒の出は流れの長さや、地域の気象条件によって異なりますが、60~75が平均的です。

寸 法		全長305mm(±4mm)全幅305mm(±4mm)	
働き寸法	長 さ	235mm(±4mm)	
	幅	265mm(±4mm)	
葺き枚数		16枚/m <sup>2</sup> 53枚/坪	
重 量		2.70kg/枚・43.2kg/m <sup>2</sup> ・143kg/坪	

4/10（4寸勾配）以上の屋根にご利用下さい。

(注) 5寸勾配以下に満たない仕様の場合は、特に下地材に注意を払って下さい。



### 安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要ですので、専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。そのような地域で粘土瓦を使用する場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

### 粘 土 瓦 の 特 性 に つ い て

瓦は天然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により成分・性質が微妙に異なるので、科学的な管理が難しい製品です。日本の瓦は約1000年以上前から作られてきましたが、製造・焼成技術が飛躍的に進歩して大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承ください。

- 粘土成分の違いや気圧などの気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生する場合があります。
- 焼きものの特有の若干のネジレや寸法のバラツキにより瓦と瓦の間に隙間が発生する場合があります。
- 施工後、日焼けによる色あせやホコリなどの付着により色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 貫入（かんにゅう）と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表面層に起こる亀裂であり、本体生地まで及ぶものではなく品質の劣化を伴うものではありません。
- 釉薬面にピンホールと呼ばれる小さい凹みや粘土素地の露出が発生する場合がありますが、これは釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するもので、屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
- いぶし色の釉薬は表面が艶消し状でホコリや油・ゴミ等の異物が付着しやすく汚れが目立つ場合がありますので、棟や壁などの施工の際はセメント・コーティング剤・ペンキ・鉄粉等が付着しないように注意が必要です。
- 製品は改良のため予告なく変更することがあります。
- 製品カタログ等の色調は、印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。



100年瓦・石州

石央瓦販売株式会社

本 社 〒695-0024 島根県江津市二宮町神主1820番地5  
TEL (0855) 53-0521 FAX (0855) 53-3935

益田支店 〒699-5133 島根県益田市神田町1627番地1  
TEL (0856) 31-5115 FAX (0856) 25-2100

福井営業所 〒918-8016 福井県福井市江端町5番地11  
TEL (0776) 34-8613 FAX (0776) 34-8614